

平成21年度経済局経営方針

目標像

経済主体である企業が活発に活動し、持続的に発展できる都市をめざす。

使命

都市機能を支える「税収」や「市民の雇用・所得」を維持・増大するには、経済の活性化が不可欠であり、経済主体である企業の事業活動を活発化するための取り組みが必要である。
 そのために、これまで経済主体である企業が活発に活動し持続的に発展できるよう、地域の企業等と協働しながら、ビジネス環境の向上に取り組んできた。
 しかしながら、金融不安等により急激に悪化している今日の経済状況を踏まえ、まず、企業が厳しい経営環境を乗り越えることが出来るように施策を展開していく。

| 現状認識 | 主な経営課題 | 戦略及び達成目標 | 21年度具体的取組及び業績目標 | 予算額 (百万円) |
|--|--|---|--|---|
| <p>経営課題1の背景となる現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界的な原材料価格の高騰に加え、平成20年後半から世界的な金融不安により、日本の実体経済は大きな影響を受け、景気は急速に後退局面に入っている。 こうした社会経済状況の急変により、受注の急減や資金繰りに苦慮するなど中小企業は非常に厳しい経営環境に置かれている。 市内の事業所の99%、従業者数の72%を占める中小企業は、大阪経済の主要な担い手である。 大阪経済は、事業所数が減少し、他都市と比べ高い水準で廃業が開業を上回るほか、製造業や卸売・小売業といった主要産業の競争力が低下している。 工場数の減少、製造業の後継者不足、住工混在問題等、ものづくりを取り巻く環境は変化している。 商店数の減少、商店街の経営者の高齢化・後継者難、消費動向の変化等、商店街は厳しい環境におかれている。 | <p>経営課題1 【企業の安定的な事業継続及び経営力強化に向けた支援】</p> <p>景気が低迷する中、厳しい経営環境にある企業に対して安定的な事業継続を支援するとともに、経営力強化を進め、厳しい経済状況を乗り越える活力創出を図る。</p> | <p>戦略1-1（緊急的に取り組む戦略） 【資金調達の円滑化支援】</p> <p>総計 (010205) ・経済状況の悪化に即応した円滑な資金支援を行うとともに、中小企業の負担軽減を図る。</p> <p>・国の施策も受け、臨機応変な措置をとる。</p> <p>[達成目標：資金不安を抱える中小企業の円滑な資金調達が行われるようにする。]</p> <p>戦略1-2（中小企業の経営基盤の強化と活力創出に取り組む戦略） 【事業安定化・経営力強化と創業・成長促進に向けた支援】</p> <p>総計 (010101、010102、010203、010204、010205、010301) ・大阪産業創造館など経済局が持つ様々な支援機関・組織を効果的に活用し、中小企業の経営基盤の強化や安定化に取り組む企業を支援する。</p> <p>総計 (010203、010204、010205、010301) ・支援を求める企業に対しては、企業ニーズも考慮し、意識付け、課題解決、事業拡大という段階に応じた支援を行う。</p> <p>総計 (010203) ・企業の成長にとって大きな課題である販路開拓を支援することで成長を促進する。</p> <p>総計 (010102) ・島屋ビジネス・インキュベータ、大阪デザイン振興プラザ、ソフト産業プラザ、M e b i c 扇町を活用して分野別に創業者を支援する。</p> <p>総計 (010201、020103) ・高付加価値なものづくりに取り組む企業を支援する。</p> <p>[達成目標：中小企業の経営基盤の強化を支援し、事業継続が行われるようにする。] [達成目標：大阪産業創造館を中心とした中小企業支援] ・企業の経営課題の解決を支援し、売上や利益の拡大を図れるようにする。 [達成目標：大阪産業創造館を中心とした創業支援] ・大阪産業創造館の事業による創業件数 21～23年度に合計500件以上 [達成目標：ものづくりの高付加価値化] ・ものづくり企業の製品の付加価値を高め、市場競争力が強化されるようにする。</p> | <p>取組1-1-①緊急金融対策の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成20年10月31日より平成22年3月末まで、「緊急金融対策」（「大阪市緊急対策資金融資」、「原材料価格高騰対策特別融資」等）を実施し、資金不安を抱える企業の資金調達を支援する。 さらにセーフティネット型融資（「経営安定対策資金融資」、「経営支援特別融資」、「資金繰り改善特別融資」）を継続して実施し、資金不安を抱える企業の資金調達を支援する。 <p>取組1-2-①大阪産業創造館を中心とした中小企業支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な分野の専門家によるコンサルティングやセミナー等を実施し、経営課題の解決を促す。 ビジネスパートナーや投資家等との多様なマッチングの機会を提供し、企業の事業拡大を促進する。 [業績目標] ・大阪産業創造館事業プログラム満足度：90% 豊富な経験と人脈を持つ企業OBが、優れた技術を持つ企業に提携先等を紹介するほか、流通ルートを持つ専門家が中小・ベンチャー企業の商品の目利きやマッチングなどを行い、販路拡大を促進する。 [業績目標] ・販路開拓支援によるマッチング件数：800件 <p>取組1-2-②大阪産業創造館を中心とした創業支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 創業形態や課題別のコンサルティング、セミナー、ワークショップなど、多様なニーズに対応した支援メニューを提供し、創業を促進する。 創業期の企業の発展を促進するため、創業直後～3年目程度の事業者を対象に、固有課題に対応したプログラムを提供し、創業期の企業の経営安定を促進する。 [業績目標] ・大阪産業創造館の事業による創業件数：165件 ・大阪産業創造館の事業により創業した企業へ1年間のフォローアップ実施 ・セミナー、ワークショップ等満足度：90% <p>取組1-2-③インキュベーション事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれのインキュベーション施設入居者に対し、インキュベーションマネージャーによる日常的な相談等、きめ細やかな経営支援を行うとともに、ビジネスマッチングイベントなどを実施し、販路開拓や事業提携を支援することで、入居企業の成長促進を図る。 [業績目標] ・インキュベーション入居者の満足度：80% | <p>125,782</p> <p>441</p> <p>(441)</p> <p>746</p> |

| 現状認識 | 主な経営課題 | 戦略及び達成目標 | 21年度具体的取組及び業績目標 | 予算額 (百万円) |
|---|---|---|---|--------------|
| <p>経営課題1の背景となる現状 (前頁に同じ)</p> | <p>経営課題1 (前頁に同じ)</p> | <p>戦略1-2 (前頁に同じ)</p> | <p>取組1-2-④ものづくりの高付加価値化</p> <ul style="list-style-type: none"> 工業研究所技術開発支援事業： 工業研究所が、企画開発から製品化に至るまで一貫した支援を行うことにより高付加価値なものづくりを支援し、企業の製品開発力を強化する。 〔業績目標〕 ・研究プロジェクト数：4件 ・研究成果普及等にかかるセミナー開催：4件以上 ・製品化支援：5件以上 大阪デザイン振興プラザ事業： 優れたデザインによって製品の付加価値向上を図る企業に対し、相談事業、デザイナー紹介等を実施し、企業の市場競争力を高める。 〔業績目標〕 ・相談等利用満足度：80% | <p>1,425</p> |
| <p>経営課題2の背景となる現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 優れた技術や独創的なアイデアに基づいた付加価値の高い製品やサービスを提供し、成長を続ける中小企業が、市内に数多く立地している。 海外との取引、とりわけアジアとの経済的な繋がりが強い。 ビジネスパートナー都市(BPC)提携など、大阪市独自の海外ネットワークを有している。 本社機能の流出が続いている。 | <p>経営課題2 【市場競争に挑戦し新事業に取り組む中小企業の創出】</p> <p>国内外の厳しい市場競争に挑戦し、新たな事業に意欲的に取り組む中小企業の創出を促進する。</p> | <p>戦略2-1 【意欲的に新事業や事業拡大に取り組む企業への支援】</p> <p>〔総計〕 (010203、030101) ・今後、少子高齢化等により国内市場の拡大は限界があると考えられるため、経済成長を続けるアジア地域を中心に企業の「売りづくり」を支援し、海外市場の販路開拓を促進する。</p> <p>〔総計〕 (030101、030102、030201、030202、030203) ・新たな活力を取り込むために、国内外から市内への企業進出を促進する。</p> <p>〔総計〕 (010101、010102、010203、010204、010205、010301) ・大阪産業創造館など経済局が持つ様々な支援機関・組織を効果的に活用し、自ら努力し、意欲的に新事業に取り組む企業を支援する。</p> <p>〔総計〕 (010205) ・経営革新に取り組む中小企業の資金調達を様々な形で支援する。</p> <p>〔達成目標：中小企業の国際ビジネス展開の促進〕 ・在阪企業の高い技術を国内外に発信し、継続して企業独自で販路開拓を図れるようにする。 ・市内中小企業が積極的に国際ビジネスを行うことにより、事業拡大・技術提携を図れるようにする。 〔達成目標：内外企業等の誘致の推進(20年度～22年度)〕 ・都市型産業分野の誘致企業数：50社 ・外資系企業誘致数：65社 ・訪問した在阪主要企業が、引き続き大阪で経営活動を行っていること：50社(22年度末) 〔達成目標：大阪産業創造館を中心とした中小企業支援(再掲)〕 ・企業の経営課題の解決を支援し、売上や利益の拡大を図れるようにする。</p> | <p>取組2-1-①中小企業の国際ビジネス展開の支援</p> <p>〔重〕 ・「売りづくり」の視点からの製品開発や海外展開支援： 海外の市場動向やニーズを熟知した企業OBなどの協力を得て、「売る」という視点から製品開発を行うための支援や、海外見本市への出展サポートなどを展開し、売り先に応じたものづくりや販路開拓を支援する。 〔業績目標〕 ・海外見本市3ヶ所に出展、商談件数12件/社以上 ・製品開発につながる情報フィードバック10件/社以上</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際ビジネス活動支援事業： IBPC大阪ネットワークセンターを通じて海外ビジネス相談事業、セミナー、ビジネスマッチング等により市内中小企業の国際ビジネス活動を支援し、海外市場における売上拡大を促進する。また、海外事務所を活用して販路開拓プロモーションセミナーを開催し、在阪企業の販路拡大を支援する。 〔業績目標〕 ・国際ビジネス活動支援事業にかかるセミナー参加者数：4,300人 ・ビジネス相談件数：760件 ・海外における現地企業向けセミナー開催回数：4回 | <p>107</p> |
| | | | <p>取組2-1-②内外企業等の誘致の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> IBPC大阪企業誘致センターを通じて情報提供から市内進出意向企業の発掘や働きかけ、在阪企業とのビジネスマッチング、インセンティブをはじめとする進出サポートまで一貫した誘致活動を展開し、企業誘致を促進する。(政策企画室と連携) <p>〔業績目標〕 ・都市型産業分野の誘致企業数：17社 ・外資系企業誘致数：22社</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業の流出抑制を念頭に、在阪主要企業への訪問を通じて、企業とのネットワークを構築し、流出原因となる課題解決に努める。 〔業績目標〕 ・在阪主要企業の訪問社数：50社 | <p>28</p> |

| 現状認識 | 主な経営課題 | 戦略及び達成目標 | 21年度具体的取組及び業績目標 | 予算額 (百万円) |
|--|---|---|---|-----------------------|
| <p>経営課題2の背景となる現状 (前頁に同じ)</p> | <p>経営課題2 (前頁に同じ)</p> | <p>戦略2-1 (前頁から続く)</p> <p>[達成目標：大阪産業創造館を中心とした創業支援(再掲)]</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪産業創造館の事業による創業件数 21～23年度に合計500件以上 | <p>取組2-1-③経営革新に取り組む中小企業への資金支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪産業創造館や金融機関が蓄積した中小企業の強みや技術力等の情報を審査に活用して融資を実施する。 金融市場からの資金調達を行うCLO(ローン担保証券)融資により資金調達の多様化を図る。 [業績目標]・他都市と広域に連携し、CLO融資を1回実施 <p>取組2-1-④大阪産業創造館を中心とした中小企業支援(再掲)：</p> <p>(441)</p> <p>取組2-1-⑤大阪産業創造館を中心とした創業支援(再掲)：</p> <p>(441)</p> | <p>(125,782)</p> |
| <p>経営課題3の背景となる現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ものづくりは、商業や物流業、サービス業などあらゆる産業の基盤となるものであり、大きな税収や雇用を生み出している。 製造業の集積度や付加価値率も高い。 高度な研究成果を有する大学や研究機関が数多く立地し、産学連携も進展している。 市場の将来性が期待される次世代ロボットテクノロジー(RT)や健康・予防医療など、次代の大阪経済を牽引する新産業が十分に育っていない。 工場数の減少、製造業の後継者不足、住工混在問題等、ものづくりを取り巻く環境は変化している。(再掲) 高い課題解決力で成長を続ける中堅企業群が存在し、大阪経済の活性化につながっている。 | <p>経営課題3 【様々な産業の基盤となるものづくりの競争力強化】</p> <p>様々な産業の基盤となるものづくりの競争力の更なる強化を図り、大阪経済の活性化につなげる。</p> | <p>戦略3-1 【ものづくりの未来に向けた投資】</p> <p>総計 (010201、020102、020103、020201、020202、020203、020302、020303)</p> <ul style="list-style-type: none"> 未来に向けた投資として、次世代産業の創出に向けた取り組みとして、次世代RT(ロボットテクノロジー)産業、クリエイティブ産業(デザイン・広告・IT等)、健康・予防医療産業振興に向けた支援を行う。 <p>総計 (010201、020103)</p> <ul style="list-style-type: none"> ものづくりの新事業創出や新たな事業展開に向けた取り組みを促進する。 <p>総計 (010201)</p> <ul style="list-style-type: none"> ものづくり施策の活用促進や、ものづくり企業の地域における良好な操業環境の維持を支援する。 <p>総計 (010201)</p> <ul style="list-style-type: none"> 誇れるものづくりの技術を未来へ継承するための支援を行う。 <p>[達成目標：パイロットプロジェクトの推進]</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪経済を牽引する新たな産業を生み出し育成する。 <p>[達成目標：次世代RT産業の創出(20～22年度)]</p> <ul style="list-style-type: none"> 次世代RT分野の事業化プロジェクト数：24件 <p>[達成目標：クリエイティブ産業の創出・育成(20～22年度)]</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業間ネットワーク形成のための交流会開催件数：50回 <p>[達成目標：健康・予防医療産業の創出(20～22年度)]</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康・予防医療分野の商品化等プロジェクト数：15件 <p>[達成目標：革新的技術の事業化の促進(20年度～22年度)]</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業化プロジェクト数：9件 <p>[達成目標：元気なものづくりの裾野を拡大]</p> <ul style="list-style-type: none"> ものづくりの魅力を広めることで将来の人材育成につながるようにする。 地域に集積するものづくりが地域で共存できるようにする。 | <p>取組3-1-①ものづくりのパイロットプロジェクトの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 次世代ロボットテクノロジー産業創出事業： <ul style="list-style-type: none"> ◆ロボットラボラトリーにおいて、研究開発から製品化まで一貫した支援を行うとともに、集客施設等における実証実験環境の整備を行い、ロボットビジネスの創出を支援する。 ◆世界ものづくりサミット等の開催を通じて「ロボット産業先進都市」大阪を国内外にアピールし、ロボット産業の創出につなげる。 [業績目標]・次世代RT分野の事業化プロジェクト数：8件 クリエイティブ産業創出・育成事業： <ul style="list-style-type: none"> クリエイティブ企業同士や異業種企業との広域的なネットワーク化等を図るとともに、その成果を広く情報発信し、多様なビジネスへの展開を支援する。 [業績目標] <ul style="list-style-type: none"> 企業間ネットワーク形成のための交流会開催件数：12回 イベント参加者満足度：80% 健康・予防医療産業創出事業： <ul style="list-style-type: none"> 癒し・抗疲労を中心とした分野における科学的根拠を有した商品開発を促進するための情報提供やコーディネート等を通じて、健康・予防医療産業の創出につなげる。 [業績目標] <ul style="list-style-type: none"> 健康・予防医療分野の商品化等プロジェクト件数：5件 <p>取組3-1-②ものづくりの新事業創出や新たな事業展開に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 革新的技術の事業化促進事業： <ul style="list-style-type: none"> 産学連携による共同研究やベンチャー企業等における事業化に向けた活動(マーケティング、資金調達等)を支援し、大学等の研究成果や技術を活用した新製品・サービスの実現を促進させる。 [業績目標]・事業化プロジェクト数：3件 「売りづくり」の視点からの製品開発や海外展開支援：(再掲) 課題解決型ものづくり推進事業： <ul style="list-style-type: none"> ◆工業研究所が中心となって中堅企業と中小企業の連携体を作り、共同研究開発を通じて企業の課題解決を支援する。 ◆独自技術や市場シェアで高い競争力を持つと考えられる中堅企業を調査し、中堅企業を核としたものづくりの振興策へつなげる。 [業績目標]・中堅企業と中小企業の連携体の構築を6月をめどに行い、課題解決に取り組む。 | <p>251</p> <p>102</p> |

| 現状認識 | 主な経営課題 | 戦略及び達成目標 | 21年度具体的取組及び業績目標 | 予算額 (百万円) |
|--|--|---|---|---------------------------------|
| <p>経営課題3の背景となる現状 (前頁に同じ)</p> | <p>経営課題3 (前頁に同じ)</p> | <p>戦略3-1 (前頁に同じ)</p> | <p>取組3-1-③元気なものづくりの裾野を拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ものづくり人材育成： ものづくり基盤技術分野の熟練技能者である大阪テクノマスターによる職業講話等を実施し、ものづくり技術の継承とものづくり産業の裾野拡大を図る。 ものづくり企業が集積する地域において、区役所や経済団体等が行う企業支援活動を、大阪産業創造館などの支援機関を通じてサポートするとともに、関係機関との連携による地域の特性に応じた新たな支援施策の方向性を検討し、ものづくりの裾野拡大を図る。 <p>〔業績目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪テクノマスター活動件数（講演、実技指導等）：20件 | <p>13</p> |
| <p>経営課題4の背景となる現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 商店数の減少、商店街の経営者の高齢化・後継者難、消費動向の変化等、商店街は厳しい環境におかれている。（再掲） 価値観の多様化により、市内全域を対象とした統一的な施策だけでなく、地域特性に応じた多様な施策が求められている。 地域資源を活用した地域産業の活性化が進展している。 NPOなど多様な主体による地域活性化の取り組みが生まれている。 都市化の進展や農業従事者の高齢化・後継者不足などにより市内農地が減少している。 安心安全な素材など、食に対する関心が高まっている。 | <p>経営課題4 【地域の多様な主体と協働した地域産業の活性化】</p> <p>区や学校、NPOといった地域の多様な主体と協働しながら、にぎわいづくりなど地域産業の活性化を図る。</p> | <p>戦略4-1 【地域特性に着目した地域密着型の事業の創出】</p> <p>〔総計〕（120105）</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の多様な主体と連携することや魅力ある商環境づくりを支援することなどにより、地域産業の活性化を促進する。 <p>〔総計〕（010103（再掲190404、200203））</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域や社会の課題解決を図るコミュニティビジネス（CB）を支援する 貴重な市内農地の保全と市内農業の振興を図る。 <p>〔達成目標：地域密着型事業の創出〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域課題に対応した活性化事業が次々と生み出される状況にする。 | <p>取組4-1-①商店街を中心とした地域商業の活性化支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 商店街団体等が創意工夫して取り組むイベント開催への支援やNPO団体等が実施するモデル事業の事業化支援などを通じて、地域商業の活性化を促進する。 商店街へのAED設置やオープンモール化による商空間の再整備などを支援することにより、安心安全で魅力ある商環境づくりを支援する。 <p>〔業績目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域商業活性化トライアル事業件数：106件 <p>取組4-1-②コミュニティビジネスの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> CB講座による啓発をはじめ、CB事業者等を対象とした相談・アドバイス、事業者間の交流機会の提供などを通じてCBの創業や事業の安定化を支援する。 <p>〔業績目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティビジネス交流事業への参加者数：150人 <p>取組4-1-③都市農業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> なにわの伝統野菜フェスタなど様々なイベントや、直売所での市内農産物の販売を通じ、伝統野菜の普及を図るとともに、市内農産物の消費拡大を図る。 <p>〔業績目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> なにわの伝統野菜フェスタにおける入場者数：3000人 | <p>(282)</p> <p>8</p> <p>51</p> |
| <p>経営課題5の背景となる現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 厳しい財政状況のもと、限られた人的・財政的資源の有効活用が必要である。 工場アパートと資源再生共同作業場について今後のあり方検討や事業の適正化に取り組んでいる。 | <p>経営課題5 【経営資源の有効活用】</p> <p>局施策の展開に対応した機動的な業務執行体制の構築を図るとともに、より高い能力と意欲にあふれた人材の育成、資産の流動化など、経営資源の有効活用に取り組む。</p> | <p>戦略5-1 【施策に対応した機動的な業務執行体制の構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会経済環境の変化に対応した施策を迅速に実施できるようにするため、限られた人的資源等を最大限活用しながら、施策に応じた効果的かつ機動的な業務執行体制を構築する <p>〔達成目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の組織の枠にとらわれず柔軟かつ機動的に業務執行体制を組み替え、経済情勢に即応した施策を実施できるようにする | <p>取組5-1-①施策に対応した機動的な業務執行体制の構築</p> <p>〇局を挙げた業務執行体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 「緊急金融対策」を円滑に実施するため、局を挙げた業務執行体制を構築する。 その他の「緊急経済対策」の推進に向けて、適宜既存の組織の枠を超えた対策チームを立ち上げるなど、適切な業務執行体制の構築を図る。 | <p>—</p> |

| 現状認識 | 主な経営課題 | 戦略及び達成目標 | 21年度具体的取組及び業績目標 | 予算額 (百万円) |
|----------------------------------|--------------------------|---|---|--------------|
| <p>経営課題5の背景となる現状 (前頁に同じ)</p> | <p>経営課題5 (前頁に同じ)</p> | <p>戦略5-2 【職員の意識改革と人材育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全局的なコンプライアンス体制・相談体制を堅持する ・ 中小企業経営者の目線に立って、局事業の政策形成を行う人材を育成する <p>[達成目標：反復した学習による全局的な体制の堅持] ・ 全職員が一丸となって取り組めるコンプライアンス体制を堅持するため、反復した啓発・学習を行い、その周知徹底を図る。</p> <p>[達成目標：研修実施による人材育成] ・ 本市経済情勢や経営感覚を身につけ、企業経営者の立場に立った施策の企画運営ができる人材を育てる。</p> <p>[達成目標：経済団体とのネットワーク強化] ・ 経済団体へ一定期間職員を派遣し、その経験とノウハウを本市施策に活かすとともに人材育成を図る。</p> | <p>取組5-2-①職員の意識改革と人材育成</p> <p>○全職員が一体となって取り組む意識の醸成とコンプライアンスに関する知識の反復学習 ・ 反復した啓発・学習により、全職員が一体となって取り組む意識を醸成するとともに、コンプライアンスに関する知識を深める。 [業績目標]・課長会、研修等の実施(年2回)</p> <p>○研修実施による人材育成 ・ 民間企業の課題解決手法を学ぶため、中小企業の立場に立ったケーススタディ型研修の実施する。 (課長代理級・係長級職員を対象) ・ 最新の経済情勢を把握し、施策の企画立案等に反映させるためのセミナーを実施(全職員を対象)する。 [業績目標]・研修(8月)及びセミナー(年2回)の実施</p> <p>○経済団体への職員派遣によるネットワークづくり ・ 経済団体への職員を派遣し、ネットワークをつくる。 [業績目標] ・ 経済団体への職員派遣：21年度より2年、1人(係長級職員)</p> | <p>—</p> |
| | | <p>戦略5-3 【資産流動化促進、施設効率的活用と施設管理の適正化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 処分検討地の効果的な売却手法を検討するとともにインテックス大阪の効率的活用を図る <p>[達成目標：資産流動化の促進] ・ 処分検討地等の処分について検討 早期・中期処分検討地(19~22年度まで)8件 20,785㎡</p> | <p>取組5-3-①資産流動化の促進と施設の効率的活用</p> <p>○処分検討地等の処分について検討 ・ 本市まちづくりの方向性や不動産市況の動向を十分に見定めたいうえで、処分検討地の売却に取り組む。 [業績目標]・臨海地区のまちづくりの方向性を踏まえ、南港東8丁目用地の売却時期・条件等について検討 ：1件 14,940㎡(住之江区)</p> <p>○インテックス大阪の効率的活用： ・ インテックス大阪の立地、機能、規模などの様々な観点から施設の効率的、効果的な活用を検討する。 [業績目標]・見本市の動向や利用上の課題等について分析し、施設のあり方について方向性を示す。</p> | <p>—</p> |
| | | <p>戦略5-4 【資源再生共同作業場と工場アパートの整理・見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資源再生共同作業場については廃止し、工場アパートについては整理・統合を図る。 <p>[達成目標] ・ 資源再生共同作業場の廃止 ・ 工場アパートの整理・統合</p> | <p>取組5-4-①資源再生共同作業場と工場アパートの整理・見直し</p> <p>○資源再生共同作業場と工場アパートの整理・見直し</p> <p>[業績目標] ・ 矢田資源再生共同作業場を廃止する。 ・ 工場アパートの整理・統合に向けて取り組む。</p> | <p>—</p> |
| | | <p>戦略5-5 【監理団体等再建・整理の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 監理団体の資金的関与の見直しを検討する。 <p>[達成目標] ・ 資金的関与の見直しの検討 (株)大阪マーチャンダイズ・マート (株)大阪鶴見フラワーセンター</p> | <p>取組5-5-①外郭団体等の整理やあり方検討実施</p> <p>○資金的関与の見直しの検討 ・ (株)大阪マーチャンダイズ・マートの資金的関与の見直しについて、関係者の理解を得ながら、引き続き検討する。 ・ (株)大阪鶴見フラワーセンターの運営検討会で資金的関与の見直しについて引き続き検討する。</p> | <p>—</p> |